

令和3年 第19回委員会会議録

1	開催年月日	令和3年12月6日(月)
2	開閉会時刻	開会：午前10時30分 閉会：午前10時59分
3	場 所	福岡市選挙管理委員室
4	出席委員	津田委員長、濱田委員長職務代理人、三原委員、石井委員
5	事務局職員	事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長
6	傍聴者	なし
7	議 題	
	(1) 議案	
		議案第10号 直接請求に必要な選挙人の数について
	(2) 報告事項	
	①	選挙人名簿登録者数について
	②	在外選挙人名簿登録者数について
	(3) その他	
		次回以降の委員会の開催予定日時
		・令和3年12月20日(月) 午前10時30分
		・令和4年1月7日(金) 午前10時30分
		・令和4年1月20日(木) 午前10時30分
8	議事次第(○：出席委員、▲：事務局職員)	
	(1) 議案	
		議案第10号について、事務局から説明を行い、審議の結果、出席議員の全会一致で可決された。
	(2) 報告事項	
		報告事項①～②について、事務局から資料の説明・報告を行った。
	(3) その他	
		・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。
	【質疑等】	
	○	若者の投票率が低い状態が続いており、若い世代こそ投票に行き、自分たちの意見を政治に反映させていく必要があることを学んでもらうため、年代別の投票率を用いた資料を、高校生への主権者教育の中にも取り入れられるよう、教育

委員会などに働きかけを行ってほしい。

また、1票の格差の問題で、今回の衆議院小選挙区でも憲法違反で無効であるとして、弁護士グループが全国14の高等裁判所及び支部に一斉提訴している。その後、2020年の国勢調査の確定値が発表され、その値で試算すると、最大格差が2.096倍であった。今後、区割り改定の作業が進められていくようであるが、行政区の一部を切り取るなどして調整が行われるため、行政区や地域社会が分断されてしまうのではないかと思う。また、小選挙区制は死票が多く出るという問題もある。多様な民意を反映するために、そして行政区や地域社会を分断しなく、抜本的な制度改正が必要な時期に来ていると意見を述べておく。